

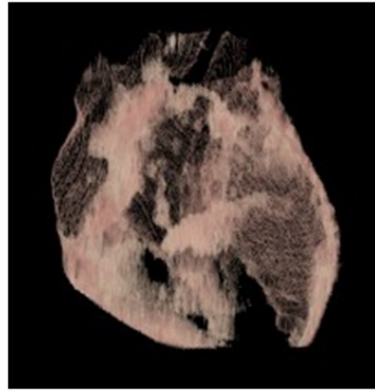
心臓血管外科

研究番号	20209
研究助成	第 40 回（令和 2 年度）木村記念循環器財団研究助成
研究責任者	朔 浩介
標題	心臓周囲脂肪が心臓・大血管術後発作性心房細動の発生に与える影響：炎症性メディエーターの発現と FDG/PET-CT 検査を用いた炎症の評価

心臓・大血管術後の発作性心房細動（Paf）の発症率は高く、20-40%といわれています。近年、心臓周囲脂肪（EAT）から放出される炎症性メディエーターが、冠動脈疾患や心不全、心房細動の発症に関係することが報告されています。当科では、EAT 容積及び EAT における炎症が、心臓・大血管術後の Paf と関与しているか検証することを目的とし、研究を行っています。



EATの多い症例（139.9ml/m²）



EATの少ない症例（21.4ml/m²）

動物実験申請番号	2020-100
研究助成	サノフィの助成金事業
担当者	姉川
標題	ペマフィブラートを用いた新規血管新生療法の開発

閉塞性動脈硬化症（ASO）は、動脈硬化性により下肢の血流障害が起こる病態で、下肢の冷感や疼痛（間欠性跛行）といった症状を引き起こします。なかでも、重度の下肢虚血に陥った症例（重症下肢虚血；CLI）では、従来の治療法では改善が乏しく、下肢切断に至るケースが多くあります。血管新生療法は間葉系幹細胞を用いて、下肢の血流を改善させることを目的とした新しい治療方法として期待されています。しかし、ASO患者における血管新生療法の治療成績は満足いく結果が得られていないのが現状です。そこで今回、下肢虚血モデルの実験動物に対して、ペマフィブラートを投与することで血管新生療法の効果が向上するか否かを検証する目的で実験を行っています。

図 本邦における血管新生療法の現状

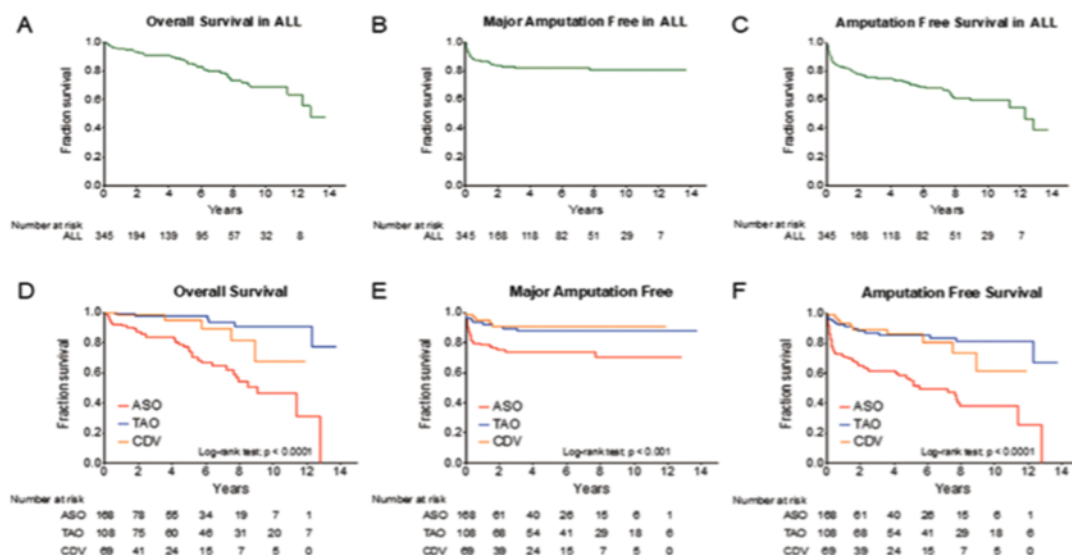


Fig. 10 Kaplan-Meier analysis of overall survival (OS), major amputation-free (MAF), and amputation-free survival (AFS) rates following the BM-MNC implantation in all patients (A-C) and in patients with ASO, TAO, and CD (D-F). Reprinted with permission from Kondo et al., Circ J 2018.